

日 時：平成28年9月28日（水）

13：30～15：10

場 所：602会議室

【出席者】油井部会長、大池副部会長、佐藤委員、土屋委員、武者委員、美齊津委員  
以上6名

【事務局】佐藤課長、若林課長補佐（企画調整係長）、市村企画員、小林、大井

- 1 開会
- 2 部会長挨拶
- 3 議 事

(1) 第一次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理について

- ・事務局より、第一次佐久市総合計画後期基本計画の第1章・第6章に掲げられた「目標」について説明（前回の続きから）。その後、部会において審議。（資料1-2）

#### 第1章 質問・意見

	資料1-2 P3 施策名：学校教育 ・意見なし
	資料1-2 P4 施策名：青少年の健全育成 ・意見なし
	資料1-2 P4 施策名：生涯学習 ・意見なし
(委員)	資料1-2 P5 施策名：スポーツ スポーツ教室については、人気のあるスポーツとそうでないスポーツとで参加者数に差が見られます。
(事務局)	市民のニーズに合わせた教室の開催が必要ですが、幅広いスポーツへの門戸を開くことも必要と考えています。
(委員)	佐久市はミニバスケットボールの方が盛んであり、バレーボールの教室も以前は行っていましたが、通う人たちが大変などの理由で少しやっただけで続かなかったことがあります。

(部会長)	人気のあるなしに関わらず幅広く教室を開催してもらえれば良いと思います。
(事務局)	担当課としても、以前は募集をしても参加者が少なければ中止にしていたのですが、現在は、いろいろなスポーツに触れる機会を増やすため、ある程度人数が集まれば極力開催するよう努力をしていると聞いております。

## 第6章 質問・意見

(委員)	資料1-2 P6 施策名：防災 自主防災組織設置区数の目標について、区の数が240区あり、計画策定時の値が230区で目標が239区ということですが、240ある区の中には、6世帯や7世帯程しかない区もあります。そのような区には組織など必要ないため、この目標は高すぎると思います。
(事務局)	後期基本計画において、総合計画としては始めて目標設定を行っており、現在の目標については、策定時にご審議いただき定めております。第二次の計画においても、目標設定をしたいと考えておりますので、今後ご審議いただく際にはそのようなことも踏まえてご議論いただきたいと思っております。
(委員)	地域自主防災訓練実施区数の目標についても、20～30世帯程の区では、訓練をしなくても、世帯数をもっと多くてしっかり訓練を行っている区よりも災害発生時には迅速な対応ができると思うので、目標が形式的なものにならないようにした方が良くと思います。
(事務局)	確かに、何かあった時に住民の皆様がしっかり避難できるかどうか重要です。
(委員)	訓練を実施した報告書を提出しないとこの目標の実績にはカウントされないのでしょうか。
(事務局)	ご提出いただいたものをもって実績値をカウントしています。

(事務局)	<p>第二次の計画においても目標の議論していただきますが、このようなご意見をいただいたということで、実質的な目標を設定できれば良いと考えています。</p>
(委員)	<p>報告書の提出がなくても、その区の実態を見て実質的には訓練をやっているようなところは実績に加えるようにした方が良いと思います。</p>
(事務局)	<p>そのような観点は大事だと思いますので、担当課にも伝えさせていただきます。</p>
(委員)	<p><b>資料 1-2 P 6 施策名：消防・救急</b></p> <p>火災発生件数の目標について、平成 27 年度には 48 件火災が発生したということですが、どのような火災が発生したのか種類別に分析をしないと効果的な啓発ができませんので、そのような文言を加えた方が良いでしょうと思います。</p>
(事務局)	<p>担当課と調整させていただきます。</p>
	<p><b>資料 1-2 P 6 施策名：交通安全</b></p> <p>・意見なし</p>
	<p><b>資料 1-2 P 7 施策名：消費生活</b></p> <p>・意見なし</p>
	<p><b>資料 1-2 P 7 施策名：協働のまちづくり</b></p> <p>・意見なし</p>
(委員)	<p><b>資料 1-2 P 8 施策名：コミュニティの育成</b></p> <p>昨日、相模原市が視察に来た際、相模原市では区への加入率が 60% 台と低いことが大きな課題だという話をしていました。自分の区では、よほどの理由がないかぎり必然的に区へ加入することになっていますが、佐久市でも平成 27 年度の実績値が 84.6% となっています。実態はどのようになっているのですか。</p>
(事務局)	<p>アパートの入居者などが区へ加入していないというケースが多いと考えられます。</p>

(委員)	そういう人たちには広報等は配られないのですか。
(事務局)	広報誌等の配布は、現在は基本的には区を通じて配布していただいておりますが、区に加入していない人もいるため、各支所や出張所などへも置いて対応しています。また、アパートを管理する不動産業者がまとめて取りに来るケースもあります。
(委員)	自分の区では、同じ敷地の中に新宅を建てて世帯が別れても1つの世帯と見なし、区費は1軒分しか貰わないという場合がありますが、行政では世帯分離していれば2世帯とカウントしており、数え方に違いが生じているのではないですか。
(委員)	住民基本台帳によれば、自分の区では66世帯になると思いますが、配布物は56世帯として報告しており、10世帯違いがあります。
(委員)	区への加入率はどのような方法で算出しているのですか。
(事務局)	年度末の住民基本台帳における世帯数に対し、各区から報告いただいている広報誌の配布世帯数の割合により算出しています。各区で世帯数の数え方に違いがあるため、本当に正確に把握しているものではありませんが、大まかにそのような方法で算出しています。
	資料 1-2 P 8 施策名：行財政 ・意見なし

- ・第一次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理の審議終了後、事務局より、これまでの部会での意見とその反映状況、最終的な審議会の意見としてのまとめ方の方法（記載方法）について説明（資料 1-3、1-4）

(2) 第二次佐久市総合計画前期基本計画素案について

- ・事務局より、第二次佐久市総合計画前期基本計画素案の第1章、第6章、第7章について、これまでの部会でいただいたご意見や庁内の調整を踏まえ、骨子案から修正した箇所及び用語解説を加えた箇所について説明（資料 2-1、2-2）

	(用語解説について)
(委員)	佐久市独自の施策をPRするために、各ページの下に記載されている用語解説に星をつけるなど上手く活用できないでしょうか。
(事務局)	印刷して冊子にするまでの中で、検討させていただきたいと思います。
(委員)	佐久市がこんな事業をやっているという事が少しでもわかってもらえれば良いのではないのでしょうか。
(委員)	資料編か何か用語解説をまとめたものを別途作る予定はあるのでしょうか。
(事務局)	その取組の用語解説はそのページに出ているといったように、別のところを見ないでわかるような形にしたいと考えております。今回の資料のように下に用語解説が付くような形にしたいと思っています。
(委員)	用語解説が前の章に記載があるので、ここにはないといった説明がありましたが、興味がある施策は人それぞれ違うので、そのページだけを見る人もいます。見る人の気持ちも考えて例えば何ページに用語解説があるといった記載をすとか、再掲になっても記載をすといった工夫はできないのでしょうか。
(事務局)	検討させていただき、見やすい形にしていきたいと思います。
(部会長)	用語解説のアスタリスクは字句の後ろにつけるのが一般的なのではないでしょうか。
(事務局)	用語解説を要する文言が長いものもありますので、一旦このままとさせていただいて、印刷、製本の際に調整させていただきたいと思います。

(3) その他

- ・第二次佐久市総合計画前期基本計画における目標設定等について  
(資料3により事務局から説明)

質問・意見

(部会長)	先程の不登校児の率などは、本来は0%を目指さないといけないのではないのでしょうか。
(委員)	火災発生件数のように毎年40件以上起きているものを、25件にするといった誰が見ても無理な目標設定はよした方が良くと思います。
(事務局)	過去の傾向などから、設定の妥当性を説明できるような数値目標としていきたいと考えております。

4 閉 会